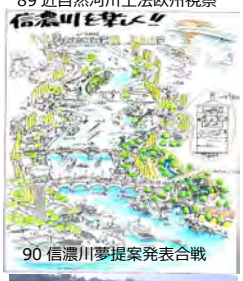
次世代に贈ることのできる“美しい水辺”を再生・創造し、絆ぐ
1987 年新潟の水辺を考える会～2018 年 NPO 新潟水辺の会ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ

87「柳川堀割物語」

89 近自然河川工法欧州視察



90 信濃川夢提案発表合戦

96 ﾗﾑｻｰﾙ湿地佐潟ハス採り大会

04 萬代橋誕生祭・川の問答隊

10 みずき野水辺の会事務所

事務所での世話人例会

04 身近な水環境全国一斉調査

09 中越水害ボランティア支援

■「柳川堀割物語」が原点

設立は 1987 年 10 月 15 日。宮崎駿監修・高畑勤監督の「柳川堀割物語」の上映＆シンポ開催をキッカケに、新潟の水辺環境について考える「新潟の水辺を考える会」発足。原点は、映画で感動したドブ川再生というやっかいな活動を楽しみながら、水の文化や技を再生、人づくりやまちづくりに結んでいる「柳川市民のこだわり」です。'94 年の汗をかく会から、'01 年に責任をとる会のＮＰＯ法人に脱皮。水辺再生まちづくりや流域連携・各地の水辺活動支援に取組む。'06 年から大河信濃川の復活にも挑戦。'07 年に 20 周年。'15 年に鮭の信濃川復活 9 年間の成果で 2 千尾が宮中ダムを超える。通船川では「つうくり市民会議」から「沿川まちづくりの会」に脱皮。とやの潟では「環境舟運」が試行され潟の復活創造の潟業が始動。設立から 30 年目になる'17 年、災害や環境、魅力資源で水辺の存在力がより鮮明になる中、より地域の産官学民連携・協働で次世代に贈る「美しい水辺」の実現に取り組む。
HP　http://niigata-mizubenokai.org/　Fb　https://www.facebook.com/niigatamizubenokai/

■1987 年 10 月 15 日 「新潟の水辺を考える会」設立

87 年 **「柳川堀割物語」の上映とシンポジウム開催**延べ 600 名入場。その熱気を引き継ぐべきと緩やかにスタート。 大熊孝新大教授代表世話人。
89 年 夏、**欧州近自然河川工法視察ツアー**参加　/秋、水辺シンポ開催（CW ニコル氏、森清和氏ほか）　**91 年** 早出川カヌー/日本海 1000km カヌー横断航海支援（土方幹夫元新大教授会員ほか。ナホトカ～新潟）　**92 年** 荒川ｳｫｯﾁ/第 8 回水郷水都全国会議新潟大会開催/『**阿賀に生きる**』**上映支援**　**93 年** 水無川ｳｫｯﾁ/新潟市東地区公民館通船川環境講座の協働支援（全国ワースト 5 のドブ川通船川）
94 年 阿賀野川下流～通船川貯木場カヌーツアー/**通船川ネットワーク設立（通船川ﾙﾈｯﾂｻｽ 21・東地区公民館・水辺の会）**
95 年 阿賀野川下流カヌーツアー/通船川ネットワーク活動　**96 年** 高柳町鯖石川ｳｫｯﾁ/**第 1 回ラムサールシンポ in 新潟開催**/第 1 回佐潟ハス採り大会開催　**97 年** 全国トンボサミット新潟・紫雲寺町大会開催/**第 1 回にいがた水辺賞贈呈(子どもの水辺活動団体等・副賞 5 万円)**
98 年 **通船川・栗ノ木川下流再生市民会議（つうくり市民会議）設立**参加/通船川河口ワークショップ（ＷＳと略）参加/第 13 回水環境全国交流会＆シンポイン新潟開催　**99 年** 新潟県山北町大川の塩木文化を辿るツアー/第 3 回全国わくわく WS 交流会通船川分科会開催/第 1 回「川とかわす明日の約束」ネスパスで開催(展示会&ミニフォーラム)
00年 元旦インターネット博覧会出展/**英蘭仏運河視察ツアー開催(20 名参加)**/信濃川Ｅボート大会支援　/第 2 回と第 3 回「川とかわす明日の約束」ネスパスで開催(川舟展示会&ミニフォーラム)　**01 年** **九州柳川と石橋を訪ねるツアー**/堀割再生物語プロジェクト実行委員会支援/通船川松崎地区まちの川 WS 支援/花絵筏プロジェクトとの協働/**「NPO 法人新潟水辺の会」設立総会**/アジア湿地会議会員派遣(ﾏﾚｰｼｱ)
02 年 **NPO 法人新潟水辺の会発足**：**NPO 法人認証・登録(02 年 2 月 19 日**新潟県から認証)
阿賀野川上下流子ども交流会支援(福島県・新潟県)/**川舟「板合わせ」を市民寄金での復元**/通船川河口の森ＷＳ運営と協働
03 年 通船川河口の森づくり WS の運営と協働/中ノ口川夢の水辺づくりＷＳ受託運営支援/第 1 回「水と緑」の寄ったかりＷＳ企画運営支援(新潟地域振興局事業)/**信濃川ｳｫｰﾀｰｼｬﾄﾙの新潟-分水間舟運ツアー支援**
04 年 **他門川再生研究の一環で韓国清渓川復元事業視察ツアー**・世界遺産水原城内の水原川視察/**第 1 回栗ノ木川桜祭り協力/早出川清流ｽｸｰﾙ・かわ塾共催**/ 中ノ口川夢の水辺づくりＷＳ＆シンポ支援/全国水環境フェア展示・運営支援/**第 1 回身近な水環境の全国一斉調査新潟地区実施**/萬代橋誕生祭「萬代橋ﾌｫｰﾗﾑ」共催
05 年 栗ノ木川桜祭り＆通船川祭り共催/**子ども環境会議支援**/第 2 回身近な水環境の全国一斉調査新潟地区実施/「他門川再生」研究会＆ﾌｫｰﾗﾑ開催/信濃川ｳｫｰﾀｰｼｬﾄﾙ新潟-分水間舟運ツアー支援/中ノ口川大曲＆小吉水辺活動支援/信濃川考流会イン安曇野/阿賀野川流域連携支援/**信濃川 E ボート大会運営**　**06 年** ソウル市完成後の清渓川&中浪川視察/第 3 回身近な水環境の全国一斉調査(以下水環境一斉調査)/栗ノ木川桜祭り支援/信濃川考流会＆サケの川会議開催/佐潟　KODOMO　ラムサール支援/水辺連続シンポ「他門川再生ﾌｫｰﾗﾑ」-**「長野までサケが遡上できる信濃川・千曲川に」(地球環境基金助成)**
07 年 **信濃川・千曲川サケ稚魚市民環境放流**（以下サケ稚魚市民環境放流と略）/他門川再生ﾌｫｰﾗﾑ/第 4 回水環境一斉調査/信濃川考流会＆上高地研修会/通船川清掃船活動/**NPO 法人新潟水辺の会 20 周年記念シンポジウム**/開港 5 都市景観会議新潟大会参加/新潟県輝く名水認定式運営　**08 年** 大熊孝新潟大学工学部教授の最終講義＆退職祝賀会/第 2 回サケ稚魚市民環境放流/第 5 回水環境一斉調査/信濃川考流会/通船川清掃船活動ほか
09 年 **第 3 回サケ稚魚市民環境放流（三井物産環境基金助成）**/新潟県内中小河川の鮭遡上と自然環境調査/第 6 回水環境一斉調査/通船川清掃船活動/つうくり市民会議企画運営/海ゴミにさせない、河川ゴミ調査　**10 年** 第 4 回サケ稚魚市民環境放流・魚道調査・**第 1 回大河塾**/10 月、長野県**上田で、65 年ぶりに鮭（3 年魚）が発見**/鮭の川シンポ/第 7 回水環境一斉調査/栗ノ木川桜祭り/通船川清掃船活動/通船川舟活用の実践/つうくり市民会議/九州ツア- /大熊河川研究室の一室を当会事務所に間借り
11 年 第 5 回サケ稚魚市民環境放流・第 2 回大河塾ツアー・鮭の川シンポ/第 8 回水環境一斉調査/通船川清掃船活動/通船川舟活用の実践&信濃川カヌー下り実践/とやの物語乗船体験支援/つうくり市民会議企画運営支援　**12 年** 第 6 回サケ稚魚市民環境放流・第 3 回大河塾ツアー・鮭の川シンポ/第 9 回水環境一斉調査/通船川清掃船活動/栗ノ木川桜祭り・通船川中流カヌー体験支援/つうくり市民会議運営支援
13 年 第 7 回サケ稚魚市民環境放流・第 4 回大河塾ツアー・鮭の川シンポ/第 10 回水環境一斉調査/通船川清掃船活動/つうくりカヌー乗船体験支援/市民会議企画運営支援　**14 年** 第 8 回サケ稚魚市民環境放流・第 5 回大河塾ツアー・鮭の川シンポ/第 11 回水環境一斉調査/通船川清掃船活動/**第 1 回とやの潟環境遊覧**/つうくり市民会議企画運営支援
15 年 第 9 回サケ発眼卵河床埋設・第 6 回大河塾ツアー・鮭の川シンポ/第 12 回水環境一斉調査/通船川清掃船活動/第 2 回とやの潟環境遊覧/つうくりカヌー乗船体験支援/**とやの物語 2015/つうくり沿川まちづくりの会運営支援**/相楽治代表世話人・大熊孝顧問体制に移行
16 年 栗ノ木川カヌー乗船体験支援/通船川川開き/第 13 回水環境一斉調査/川まちづくり協働モデル事業クルーズ＆カヌー体験/第 3 回とやの潟環境舟運/信濃川・千曲川トーク＆第 7 回大河塾ツアー/とやの物語 2016/つうくり沿川まちづくりの会運営支援/河久保川鮭の発眼卵埋設放流
17 年 第 14 回水環境一斉調査/第 4 回とやの潟環境舟運/鳥屋野潟シジミの会**第 1 回潟舟板合せ漕ぎ方教室**参加/海と日本プロジェクト(長野放送)参加/潟再生事業研究/**第 1 回阿賀野川大河塾**/早出川清流スクール支援/新潟市里潟学術研究「**松浜の池、内沼潟のミステリーを市民目線で調査**」/とやの物語　2017/信濃川上下流交流：上田/つうくり沿川まちづくりの会運営支援/開港五港まちづくり会議参加/新潟水辺の会の活動３０周年記念フォーラム/宝川鮭の発眼卵埋設放流
18 年 大熊先生のご回復を祝う会/通船川川掃除＆草刈り・花事業/第 15 回水環境一斉調査/鳥屋野潟五方良し竹筏プロジェクト/第 5 回とやの潟環境舟運/とやの物語 2018/信濃川上下流交流：上田/つうくり沿川まちづくりの会運営支援予定/

■受賞履歴

：'96 年新潟県環境賞/'97 年地域活性化大賞(副賞の 100 万円でにいがた水辺賞創設：子ども達の活動支援)/ '98 年地域活性化センター「ベスト会報賞」/'99 年第四銀行環境基金、全国川の日ワークショップグランプリ/'00 年環境庁地域環境保全功労者賞/'03 年新潟市地域環境改善功労者賞/※'08 年大熊孝代表新潟日報文化賞受賞(社会活動部門・個人)/'16 年ろうきん笑顔プロジェクト表彰

■助成等の実績

：'95 年(社)北陸建設弘済会基金（「通船川再生手法」の研究）/'96 年**地球環境基金（ラムサールシンポ）**/'97 年河川整備基金（通船川市民マスタープランづくり）、**日本財団（全国トンボｻﾐｯﾄ記念生物目録）**/'00 年地球環境基金（イン博）/'02 年**こしじ水と緑の会（川舟「板合わせ」の復元）**/'04 年こしじ水と緑の会（全国一斉水質調査）、ｾﾌﾞﾝ・ｲﾚﾌﾞﾝみどりの基金（かわ塾）、まちづくり財団（かわ塾）、（財）新潟県環境衛生研究所（かわ塾）/'05 年**こしじ水と緑の会（栗ノ木川桜祭り＆通船川舟体験）**/'06～'07 年地球環境基金（上流・長野まで、鮭の遡上できる信濃川・千曲川に）/'08 年新潟県労働金庫（川舟を利用した通船川清掃）/'08 年大成建設自然・歴史環境基金（新潟市内に残された自然度の高い、小阿賀野川の保全とカヌー川下りの事業化）/'08 年日本財団（内水面舟運連携）/'08～'15 年**三井物産環境基金（新潟の鮭を長野まで遡上させる活動）**/'09 年こしじ水と緑の会（新潟県内川ゴミ調査）/'14 年**新潟市里潟鳥屋野潟研究**/'15 年こしじ水と緑の会、山口財団、新潟市里潟松浜の池研究/'16 年新潟市里潟研究、一如社からの寄付、新潟市市民協働モデル事業採択/'17 年新潟市里潟内沼潟研究

■出版・投稿ほか紹介

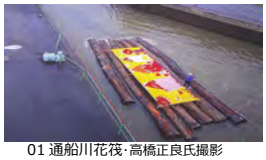
：'94 年 石城謙吉著「小川の増自然」/'95 年大熊孝著「川がつくった川、人がつくった川」/'97 年「清潟の自然目録」/'00 年「ともだちになろうふるさとの川」事例掲載/長谷川久彦画「新潟の水辺を描く」/'01 年小船内秀一編著「季刊ぱらくて第 8 号特集新潟の水辺を考える会」/「河川」11 月号寄稿/'03 年星島卓美・金巻とよじ著「通船川物語」/「社会教育」7 月号寄稿/'04 年相楽治ほか編著「私たちの『いい川・いい川づくり』最前線」/'05 年季刊まちづくり 6 号寄稿/「河川」8 月号寄稿/'07 年相楽治ほか編著「新潟まちづくり物語」/'08 年水辺の会 20 周年記念誌/'11 年水辺の会ホームページに「Dr.Big・Bear の川講座」開設/'15 年水辺の会フェイスブックサイト開設、YouTube 加藤功サイト(とやの潟環境舟運など映像公開)/「河川工学者三代は川をどう見てきたのか」篠原修著/カガリ火：大熊先生インタビュー/

92 第 8 回水郷水都全国会議新潟大会

90 日本海カヌー横断航海 PJ 支援

94 ドブ川通船川再生ワークショップ

99 全国 WS 大会通船川分科会


01 通船川花筏・高橋正良氏撮影

04 栗の木川さくら祭り E ボート

04 復原川舟乗船体験・松野船頭

通船川定期掃除船活動

04 国重文萬代橋＆ウォーターシャトル

07 他門川再生シンポ(韓国清渓川に学ぶ)

14-16 とやの潟環境舟運

06～15 信濃川復活のサケ稚魚環境放流

赤谷発電所ﾀｰﾋﾞﾝ通過調査

09 水辺シンポ（水枯れの大河・信濃川に鮭の道を拓く）

07:20 周年シンポ鼎談/大熊・篠田・内山

次世代に贈る
ことのできる
美しい水辺に

特定非営利活動法人
新潟水辺の会
代表世話人　相楽　治

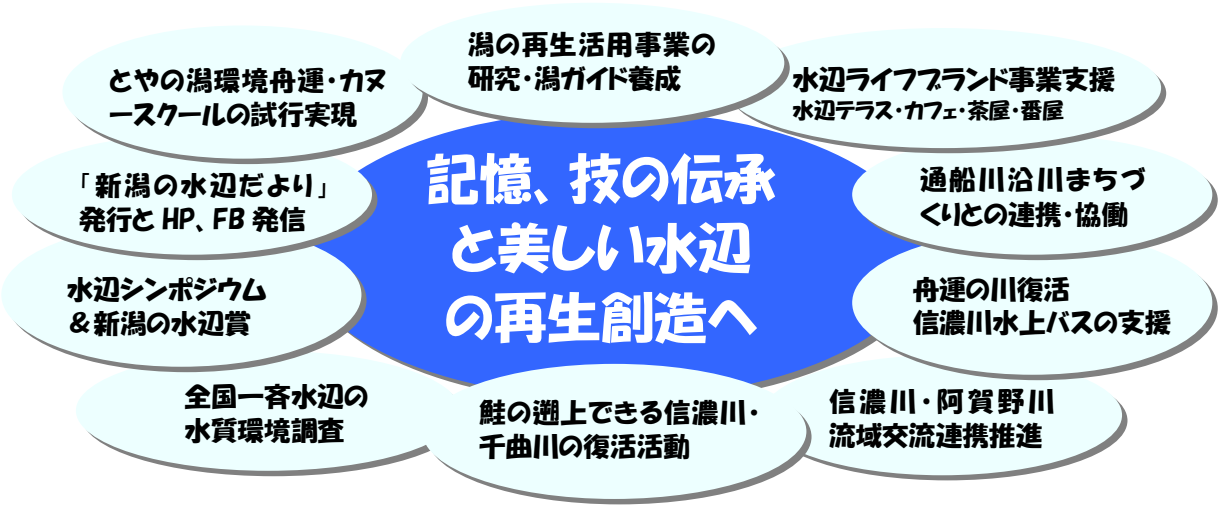
入会のごあんない

● ご一緒に活動しませんか？　水辺の会は遊び心半分、真面目心半分で活動しています ●

活動には、家族ぐるみ、地域ぐるみ、グループでの参加・連携・協働を歓迎します。自分の足で水辺を歩いたりして、そこで感じたことから自分の水辺の宝を発見していくこと、あるいは考えて活動することを大切にしています。
あらためて「身近な水辺」を今までとは違った視点から目を向けてみると、同じものを見ているはずなのにそれまでの水辺とは違ったものに見えてくる。そこには新しい発見があり、自分の世界もまた少し広がってくるはずです。

■　目的：この法人は、会員相互の協力や広範な人々との協働によって、水辺に関わる自然、歴史、文化、生活、風俗、福祉、教育、産業、スポーツ、レクリエーション、安全並びに科学技術を探り、これからの水辺の望ましい姿を考え、楽しく生き生きとした美しい水辺づくり、水辺育てを行い、地域にとっての水辺の環境改善やまちづくりに寄与することを目的とする。

・代表：相楽治　会員：115 名（6 社・団体）賛助会員 3 名、世話人 12 名（事務局 3 名兼任・非常勤）、監事 2 名、顧問 2 名
・舟小屋 1 棟、船外機付きボート 1 艘、ゴムボート 2 艘、2 人乗りカヌー10 艇、10 人乗り E ボート 1 艇、ドローン 1 機、ライフジャケット、テントなど



FAX かメールで入会をお申込み、ご入金願います

払　込　取　扱　票

郵便口座番号　００６４０－５－□□１２０１５

加入者名　**新潟水辺の会**

金額

通信欄　該当欄に☑点を記入してください。
□個人会員　１口 1,000 円（２口以上）　□法人・団体会員　１口 5,000 円（２口以上）
□家族会員（２人目）　１口 1,000 円（１口以上）　□学生会員　１口 1,000 円（１口以上）
□賛助会員　１口 1,000 円（１口以上）　□法人・団体賛助会員１口 5,000 円（１口以上）
※生まれた近くの川、潟湖、池（記憶の水辺）をお書きください。　*例：相楽・今出川（福島県の阿武隈川支流：石川町）・治*

おなまえ:　（家族会員は列記で）
おところ（郵送先）:〒
TEL＆FAX:
メールアドレス（携帯ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽも可）:

NPO 法人
新潟水辺の会

事務局　〒950-2264
：新潟市西区みずき野
４－７－１５
TEL: **025-264-3191**
FAX：025-264-3260

Email:mizubenokai@plum.plala.or.jp

http://niigata-mizubenokai.org/